

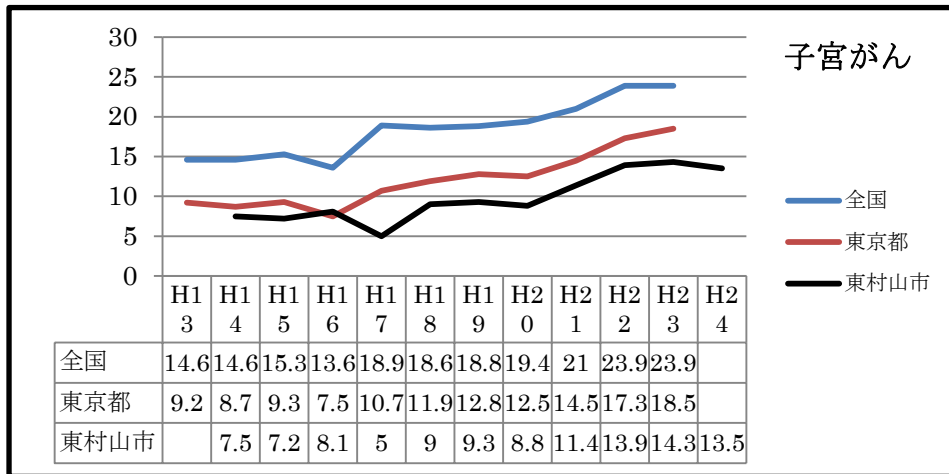
がん検診受診率進捗状況

保健計画・健康ひがしむらやま21	施策の方向	展開方向	
	がん予防対策	①がん検診受診促進のための普及啓発 ②精度管理の推進 ③健康教育の充実 ④受けやすい環境づくり	①生活習慣の改善 ②がん検診受診率の増加 ③がん検診の利便性の向上 (受診方法・時期等)

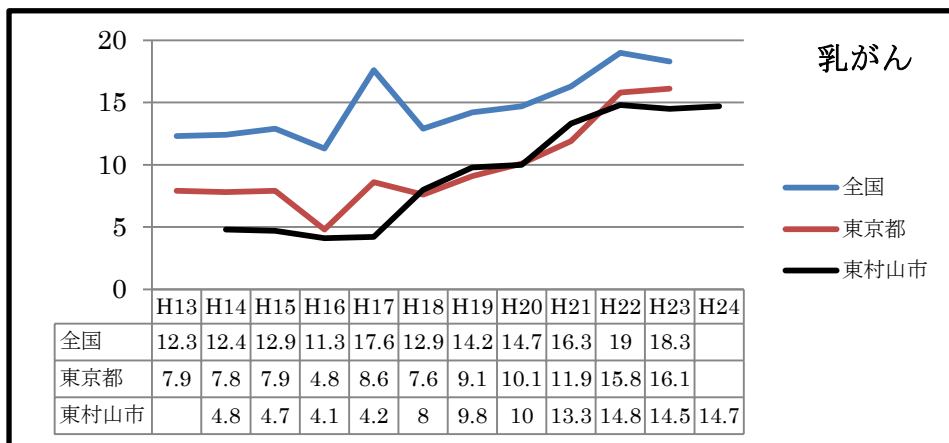
項目別取組状況

	平成 24 年度取組	平成 25 年度実施計画
受診促進のための普及啓発	<p>■特定年齢者へ個別に受診・再受診勧奨通知（未受診者）及び無料クーポン事業（総合計画（実施計画計上）を実施 無料クーポン（下線 受診と再勧奨通知年齢） ・乳がん：<u>40</u>・<u>45</u>・<u>50</u>・<u>55</u>・60 歳（※開始H21 年度） ・子宮がん：20・<u>25</u>・<u>30</u>・<u>35</u>・40 歳（※開始H21 年度） ・大腸がん：49 歳（勧奨・再勧奨通知のみ。無料クーポンなし）（※開始H23 年度）</p> <p>■特定健診通知にがん検診関連情報を記載し受診啓発を実施</p> <p>■乳がんキャンペーン（健康のつどい 1 日）の実施</p>	<p>■無料クーポン事業及び再勧奨 前年と同様継続 再勧奨（未受診者）年齢 ・乳がん：40・45・50 ・子宮頸がん：25・30・35 ・大腸がん：49 歳</p> <p>■継続</p> <p>■乳がんキャンペーン 2 日間の実施を検討中</p>
精度管理の推進	<p>■精密検査対象者へ早期受診勧奨・追跡等、精検後の結果把握、フォロー継続</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>精度管理指標の項目 ○受診率○要精検率○精検受診率</p> </div> <p>・精検受診率 23 年度（別紙参照） 精検受診率 目標値 90%以上に対して、大腸がん・胃がんの精検受診率は許容値（70%以上）の範囲である。</p>	<p>■継続</p> <p>・精検受診率 ※24 年度追跡中</p>
健康教育の充実	<p>大腸がん講演会（参加数 68 人）</p>	<p>胃がん講演会 10 月 3 日予定</p>
受診しやすい環境づくり	<p>■子宮がん・乳がん検診の実施期間を 5 か月から 7 か月間に拡大</p> <p>・未受診者の再勧奨通知時期：10 月下旬</p>	<p>乳がん・子宮がん早期受診・駆け込み受診対応として、前年より早めの通知予定</p> <p>・再勧奨通知時期：9 月下旬</p>

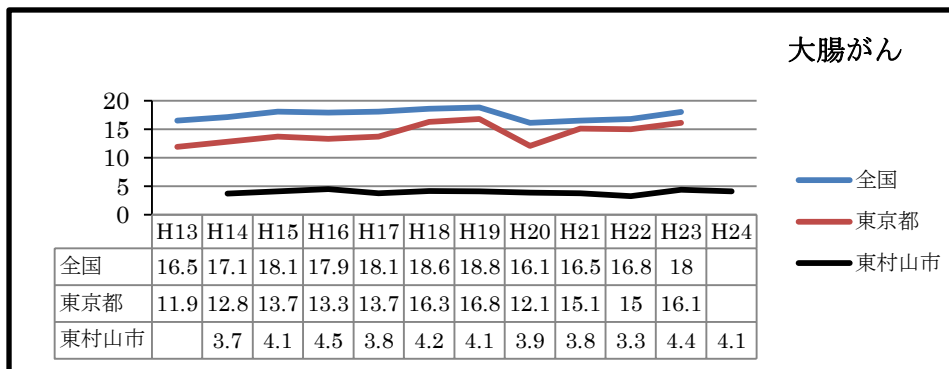
◆受診率の推移



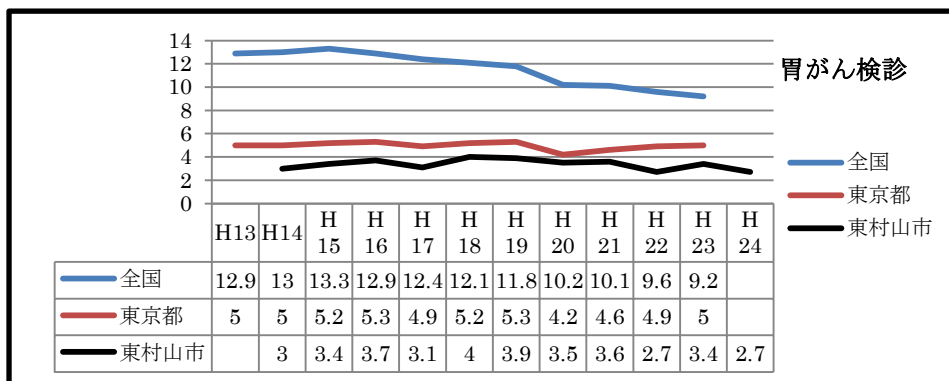
<子宮がん受診率>
 全国平均より低い結果であるが、受診勧奨・再勧奨・無料クーポン事業の結果、若干の受診率向上がみられ、受診勧奨等の効果が反映されつつある。



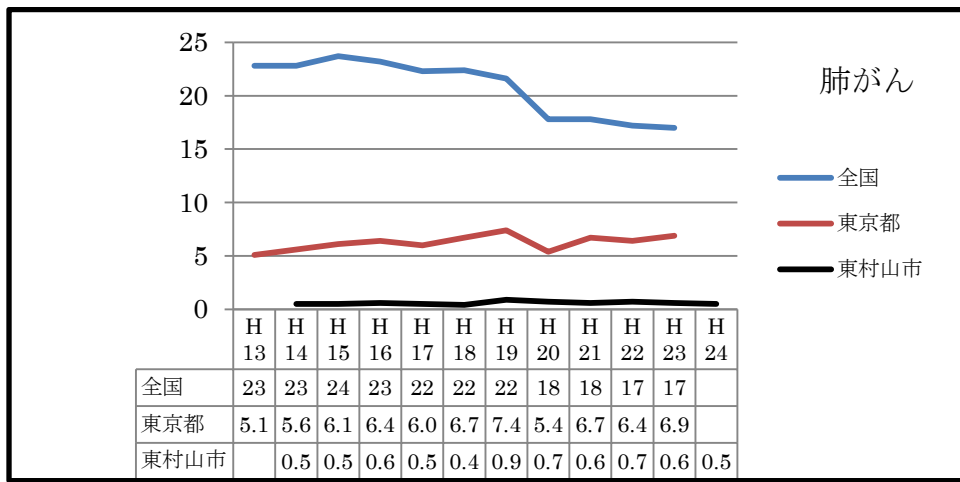
<乳がん受診率>
 全国・都平均より低い結果であるが、受診勧奨・再勧奨・無料クーポン事業の結果、若干の受診率増加がみられ、受診勧奨等の効果が反映されつつある。



<大腸がん受診率>
 全国・都平均より低い結果である。受診勧奨・再勧奨の結果、若干の受診率増加がみられたが、効果は十分に反映されていない。啓発・実施時期等について検証が必要である。



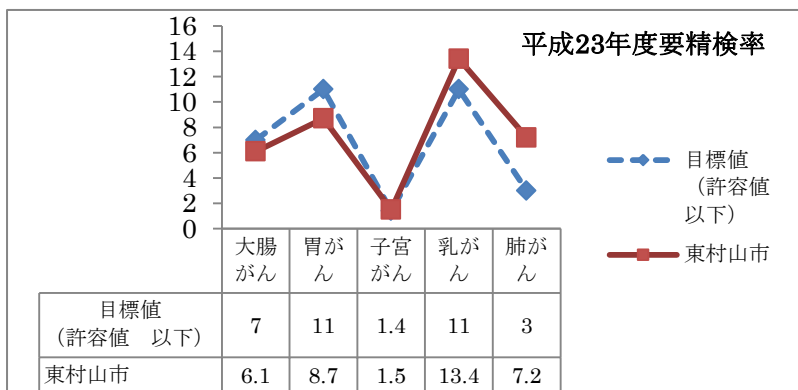
<胃がん受診率>
 全国・都平均より低い結果である。効果は十分に反映されていない。啓発・実施時期等について検証が必要である。



<肺癌受診率>
 全国・都平均より低い結果である。受診勧奨等の啓発の結果、効果は十分に反映されていない。啓発・実施機関・実施時期等全般について検証が必要であり、受診率を上げることが優先課題である。

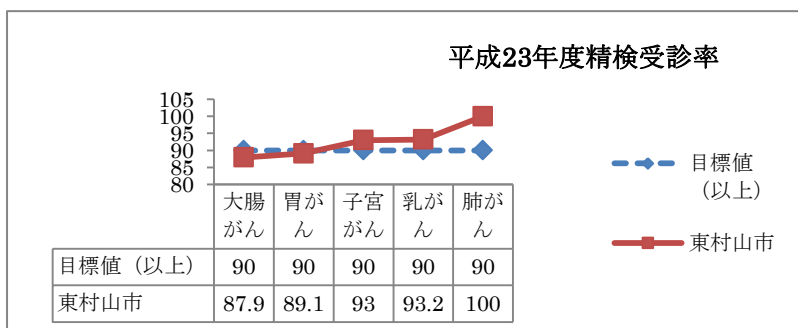
<精度管理の数値目標>
 厚労省がん検診事業評価に関する委員会
 精度管理指標の数値目標
 ○受診率 ○要精検率 ○精検受診率

◆要精検率（がん検診受診者のうち、精密検査が必要な者の割合）



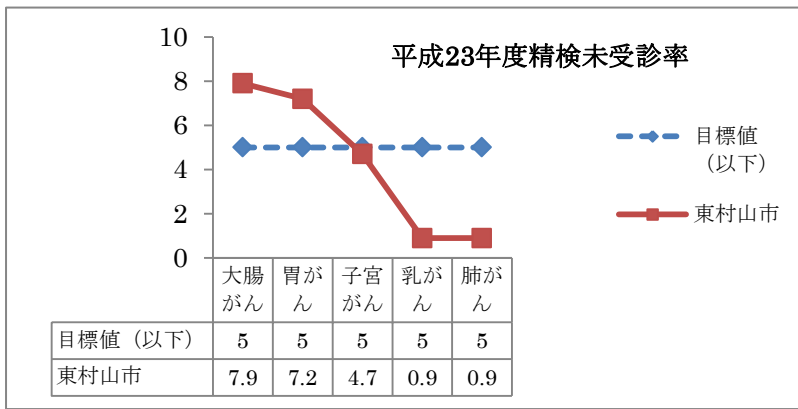
<要精検率（許容値）>
 ○精度管理に基づく項目はすべて満たしている
 ○大腸がん・胃がん・子宮がんは許容値の範囲である。乳がん・肺がんは実施機関の精度管理の向上が必要である。

◆精検受診率（精密検査を受けた者の割合）



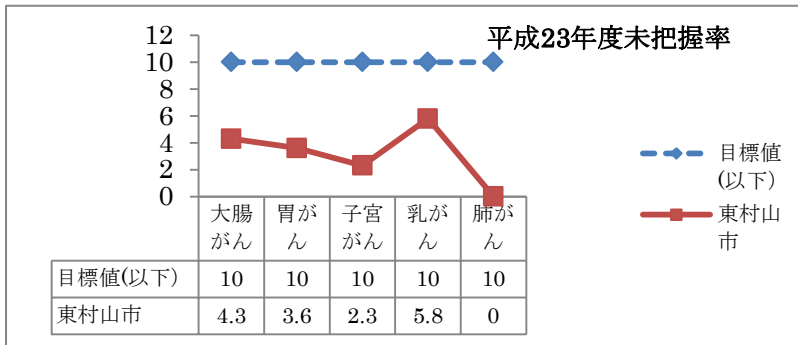
<精検受診率 目標値 90%以上>
 ○肺がん・乳がん・子宮がんは目標に達している。
 ○大腸がん・胃がんの精検受診率は許容値（70%以上）の範囲である。

◆精検未受診率（精密検査を受けなかった者の割合）



<精検未受診率 目標値 5%以下 >
 ○肺がん・乳がん・子宮がんは目標に達している。
 ○大腸・胃がんは許容値（20%以下）の範囲である。

◆精検未把握率（精密検査を受けたかどうか追跡できなかった者の割合）



<精検未把握率 目標値 10%以下 >
 ○5がんについて精密検査後の結果把握の目標を達している。